

フリガナ	キョ カイ / Xu Jiayi		
氏名	X U J I A Y I		
生年月日	1995年6月14日 (満23歳)	性別	女
e-mail	xujiayi1995@bpe.es.osaka-u.ac.jp	自宅電話	
現住所	〒 562-0005 大阪府箕面市新稲 7 丁目 1 番 1 8 号大阪大学 新稲国際宿舎 E-204		
休暇中の連絡先	〒 562-0005 大阪府箕面市新稲 7 丁目 1 番 1 8 号大阪大学 新稲国際宿舎 E-204		



年月	学歴・職歴
2010年9月 ~ 2013年6月	武漢第六中学
2013年9月 ~ 2017年6月	武漢科技大学 計算機科学と技術学院 ソフトウェア工学専攻
2018年4月 ~ 2020年3月(見込)	大阪大学大学院 基礎工学研究科 機能創成専攻

保有資格・スキル

TOEFL iBT(R)TEST 89点 (2017年1月)、日本語能力試験 N2 (2016年8月)、Software Design Engineer (2015年12月)

趣味・特技

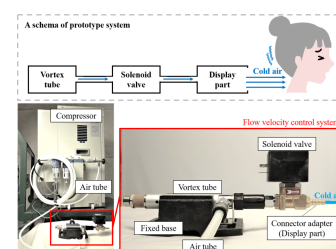
写真撮影、歌を歌う、絵を描く

学業、ゼミ、研究室などで取り組んだ内容

大学の専門はソフトウェア工学であるため、プログラミングやアルゴリズムなどの知識を勉強し、プロジェクトを開発したことがあります。今は大学院生であり、バーチャルリアリティに関する研究を行っています。具体的には温度感覚の提示です。ユーザの周囲における空気温度および流速を制御することによって冷覚を非接触で提示するシステムを提案します。冷気を生成するため、ボルテックスチューブと呼ばれる機器を用います。生成された冷気の流速を制御することによって多段階の冷覚を非接触で提示します。

自己PR

私は大学院で冷覚の提示を研究してきました。目標は視覚以外の感覚の中で、人々が環境を知覚するために重要な温度感覚を再現することによって、ユーザに臨場感が高く自然なバーチャルリアリティ体験を与えたいです。一番困難だったことは非接触で冷覚を提示することです。温度感覚の提示に関する多くの研究は物体に触れた時の温冷覚にのみ重点が置かれている。従来手法は、接触式の温度提示装置を用いて温冷覚を提示する。しかし、本来、人は物体に触れることなく空気の温度を感じるため、従来手法では接触感による不自然さが生じる。従って、ユーザの周囲における空気温度および流速を制御することによって冷覚を非接触で提示するシステムを提案し、多段階の冷覚を提示できることを確認しました。大学院に進学してから一年が経ちました。研究のために色々な関係する知識を学んで、日々成長していると実感しています。



学生時代に最も打ち込んだこと

高校時代から素晴らしいゲームを作るという夢がもっているため、大学でソフトウェア工学を専門として勉強しました。未来のゲームはバーチャルリアリティという技術に関連すると信じ、日本の大学院に留学しようと決心しました。そのため、色々な準備をしました。まずは日本語、半年間で毎日言葉を覚え、文法を学び、文章を読み、日本語能力試験 N2 を取得しました。その後、二か月でTOEFL iBTという英語試験を準備して、89点を取得しました。次に研究テーマを決めるため、色々な論文を読んだ後、研究計画書をかきました。最後はテーマに関連する先生を探して、最終的には大阪大学に入学しました。この経験から、私は「努力は必ず報われる。後は自分を信じるだけ」という話がきちんと理解できました。



企業記入欄
